

令和5年3月2日

保護者様

羽曳野市立高鷲中学校
校長 山田 浩三

学校の教育活動についてのアンケート結果のお知らせ

今回、学校教育自己診断にご協力いただきありがとうございました。高鷲中学校においては、日々保護者・地域の皆さまの協力をいただきながら様々な教育活動を実施しています。子どもたちにとってどんな教育が必要でどんな教育が大切かを、このアンケートを行うことによって今後の学校運営の資料として活用していきたいと考えております。

今回のアンケート実施に対し、保護者の皆さまからご協力をいただいたことに深く感謝申し上げます。ここにアンケート集計結果をご報告いたします。

皆さまからの貴重なご意見を評価と捉え、これからの高鷲中学校の学校づくりに活かしていきたいと考えています。これからもご意見やご提案も含めてよろしくお願いいたします。

☆今回のアンケート結果から、今年度もコロナウイルス感染防止のため、学校行事が中止や規模縮小されたり、教育活動に制限が課せられたりする中、目標達成率70%を18項目中生徒17項目、保護者は16項目で上回ることができました。全体的には学校の教育・取り組み・生徒への対応に対して十分な共感や理解をいただいているように感じ、心から感謝いたします。

<生徒アンケートより>

成果（達成率が70%以上の項目）

- ・問17…命（人権）の大切さや社会のルールについて学習する機会が多い＝96%
- ・問10…先生は生徒の悩み（いじめなど）や相談に親身になってくれる＝91%
- ・問14…学校行事はみんなが頑張れるように工夫されている＝91%
- ・問18…学校は通信などを利用して、家庭（保護者）との連携を密にしている＝91%

- ・問7…忘れものや提出物の点検はきちんとされている＝90%
- ・問3…先生は授業で生徒の興味関心を考えて、様々な工夫をしている＝90%
- ・問2…先生は生徒の意見をよく聞いてくれる＝89%
- ・問15…生徒の自主的な活動（生徒会・委員会など）が活発になるように考えられている＝89%
- ・問9…成績のつけ方や通知表については納得できる＝88%
- ・問12…将来の進路や生き方について考える機会がある＝88%
- ・問16…部活動に積極的に参加している＝88%
- ・問13…進路についての情報をよく知らせてくれる＝86%
- ・問8…チーム・ティーチングや少人数分割授業は、授業内容が理解しやすい＝85%
- ・問1…学校へ行くのが楽しい＝82%
- ・問11…担任の先生以外に、保健室や相談室（スクールカウンセラー）などで、安心して相談することが出来る＝80%
- ・問4…授業で分からないことを、先生に質問しやすい＝77%
- ・問5…授業で間違っても恥ずかしくないように配慮してくれる＝75%

課題（達成率が60%未満の項目）

- ・ありませんでした

<保護者アンケートから>

成果（達成率が70%以上の項目）

- ・問7…忘れものや提出物の点検はきちんとされている＝91%
- ・問14…学校行事はみんなが頑張れるように工夫してある＝91%
- ・問2…先生は生徒の意見をよく聞いてくれている＝87%
- ・問8…子どもはチームティーチングや少人数分割授業は、授業内容が理解しやすいと言っている＝87%
- ・問16…子どもは、部活動に積極的に参加している＝87%
- ・問17…命（人権）の大切さや社会のルールについて学ぶ機会を多くしている＝87%
- ・問9…成績のつけ方や通知表については納得できる＝86%

- ・問3…学校は授業で様々な工夫をしているようだ＝85%
- ・問5…先生は子どもが授業で間違っても恥ずかしくないように配慮してくれる＝85%
- ・問11…担任の先生以外に、保健室や相談室（スクールカウンセラー）などで、安心して相談することが出来る＝85%
- ・問10…先生は生徒の悩み（いじめ等）や相談に親身になってくれる＝82%
- ・問1…子どもは学校へ行くのが楽しそうだ＝81%
- ・問12…将来の進路や生き方について考える機会があるようだ＝75%
- ・問18…学校は通信などを利用して、家庭（保護者）との連携を密にしている＝74%
- ・問4…子どもは、先生に質問しやすいと言っている＝71%

課題（達成率が60%未満の項目）

- ・問13…進路についての情報をよく知らせてくれる…58%

<生徒アンケートより>

- ・このアンケートでは大きく分類すると「集団づくり」「授業改善」「先生と生徒の関係」という3つの観点で、数値を評価することが出来ると考えます。まず「集団づくり」の面で見えていくと、問14「学校行事はみんなが頑張れるように工夫してある」が91%、「生徒の自主的な活動（生徒会・委員会など）が活発になるように考えられている」が89%で、コロナ禍で行事等に中止、変更があったにもかかわらず、このような数値になったことを嬉しく思います。問1「学校に行くのが楽しい」は82%でした。5人に一人は楽しいと思えない状況です。来年度はコロナウイルスの感染防止のための様々な教育活動にかかる制約が緩むと考えられます。生徒たちに「学校が楽しい」と思わせるような取り組みをどう構築していくかが大きな課題であると感じます。
- ・学習面で見えていくと、問3「先生は授業で生徒の興味関心を考えて、様々な工夫をしている」が92%です。タブレット端末等、ICT機器の活用にも取り組んできました。その結果の表れかと思いますが、この数値に満足することなく授業への創意工夫を続けていきます。

- ・先生と生徒の関係について見ていくと、問10「先生は生徒の悩みや相談に親身になってくれる」が91%、問11「担任の先生以外に、保健室や相談室などで安心して相談することが出来る」が80%です。この数字に安心することなく、生徒との信頼関係を構築していくよう、尽力していきます。

<保護者アンケートより>

- ・保護者アンケートの結果、問2「先生は子どもの意見をよく聞いて考えてくれている」(87%)、問10「先生は生徒の悩みや相談に親身になってくれている」(82%)、問11「担任の先生以外に、保健室や相談室などで安心して相談することが出来る」(85%)と、いずれもの達成率が80%を超えました。80%を超える保護者の方々が、「先生達が生徒に対して親身になって関わってくれている」と感じてくれていることに、教職員一同嬉しく思うとともに、この達成率に満足することなく、さらに数値が上昇するように尽力いたします。
- ・課題としては、生徒と同じく問1「学校に行くのが楽しそうだ」は81%になっていることです。来年度は生徒、保護者ともに問1の達成率が90%に到達するように教育活動の創意工夫に努めてまいります。
- ・保護者の記述欄では、「生徒間のトラブルが心配」「学校の様子配信」「進路や受験について」「授業規律について」等のご意見をいただきました。次年度の検討課題としていきます。一方、今年度も「親身になっていただき感謝している」「先生方のおかげです」という内容が多くありました。

今回、お答えいただいたアンケート結果、記述していただいたご意見やご提案は今後の学校運営の資料として活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。これからも高鷲中学校の教育活動に対して、ご理解、ご支援をお願いいたします。